

特例措置の適用判断

【特定 DTC 照会アプリのアップデート時にエラーが発生した場合】

特定 DTC 照会アプリのアップデートエラーが発生

OBD 検査コールセンターに連絡しアップデートエラーが発生している旨を伝える

OBD 検査コールセンターに対して、以下の情報を伝え、「特例番号」を受領する

- ・事業場の名称
- ・管轄運輸支局等
- ・指定番号
- ・連絡者名及び連絡先

コールセンター時間外

特例措置の適用
特例措置の適用後はテルテールにより判定

特例番号受領後に
特例措置を適用開始した場合

指定整備記録簿に特例番号を
記載して保管

コールセンター時間外に
特例措置を適用開始した場合

コールセンターの業務開始後、速やかに
コールセンターに連絡し、「特例番号」
を受領
連絡記録（様式は次頁）を作成の上、
指定整備記録簿に添付して2年間保管

・翌日以降もアップデートエラーが解消されなかった場合には、再度コールセンターに連絡し、新たな「特例番号」を受領する

・その場合は前日と同様、テルテールにより判定

特例措置（アップデーター）適用時に必要となる記録等

【特定DTC照会アプリのアップデート時にエラーが発生した場合の確認記録様式例】
※特例番号受領後に特例措置を適用開始した場合は連絡記録の作成は不要

コールセンターへの連絡記録

作成日：令和●年●月●日
●●自動車整備工場

☐ アップデートエラーが発生した日時
（記載例）
■ 令和●年●月●日 ●時●分

☐ コールセンターに連絡した日時
（記載例）
■ 令和●年●月●日 ●時●分、●●（連絡者名）
■ 令和●年●月▲日 ▲時▲分、●●（連絡者名）

☐ 受領した特例番号
（記載例）
■ UD41-240625-11
■ UD41-240626-11
・
・
・

※特例番号を複数受領した場合は、受領した全ての特例番号を記載すること。

【特例措置を適用した場合の指定整備記録簿の記載等】

※コールセンター時間外に特例措置を適用開始した場合は「連絡記録」を添付するため指定整備記録簿自体への「特例番号」の記載は不要

①「OBD検査結果」欄の「良」に○印を記載するとともに「走行テスト等の方法と結果」欄にテルテール点灯状況（点灯又は点滅していないこと）の確認結果を記載する。

【記載例】：「走行テスト等の方法と結果」欄

OBD検査特例適用

特例番号：0000-000000-00

確認日：令和●年●月●日 ○○時○○分 テルテール点灯・点滅なし

②テルテールの点灯状況について写真又は動画で記録すること。この際、撮影日時がわかるもの（時計等）を当該写真又は動画内にあわせて記録しておく。